

質問 水と緑が育む昭島について、深層地下水100%の水道水は全国に誇れる行政サービスであると考えられる。多摩川やその他の用水、分水など水環境への市の基本的な考えは。

答弁 近年の地球温暖化に伴う河川や湧水への影響など、水環境の対策は急務と認識している。引き続き恵まれた水と緑を守り、創る取り組みを推進していく。

質問 市は、乳児から高齢者まで様々な予防接種事業を行っているが、①相互乗り入れ実施市の拡充はできないのか。②子宮頸がん予防ワクチンの種類は2価・4価・9価とあるが、選択の基準を説明すべきでは。

答弁 ①必要を取り組みと認識しているが、各医師会の合意形成が得られていない。引き続き関係機関との協議に努めていく。②市ホームページへの掲載とともに、接種を行う医師との相談し、総合的に検討する。

質問 リチウムイオン電池の処理について、都内のみ処理施設で火災があったが、①市では対策が出来ているのか。②有害ごみとして収集した後の処理方法は。

答弁 ①対策を強化するため、環境コミュニケーションセンター内にプリンクラーを増設する予定である。②環境コミュニケーションセンター内に保管した後、外部のリサイクル施設に搬出し、処理している。

水と緑が育む昭島について
自由民主党昭島市議員 小林こうじ

子ども・女性・障がい者が安心して暮らせる街へ
都民ファーストの会・ゆざまさ子 議員

質問 学校教育について、従来の画一教育では同調圧力・正解主義につながる課題がある。また、激変する社会を生きる必要を身に付けるためにも、個別最適な学び・協働的な学びの充実を図るべき。考えは。

答弁 各学校とも個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、学びに向かう力などを育成するための授業改善に取り組んでいる。

質問 孤立化が進む社会状況の中で、顔が見え助け合える関係性の構築は防災対策に限らず喫緊の課題である。公園等のかまどベンチ・マンホールトイレについて、①設置場所を市民へ公開すべき。②被災

質問 子どもの安全が望み、4人が希望どおりに転園することができた。調るなど、取得状況は増加傾向である。引き続き育児休業取得しやすしい職場環境の整備に努めていく。②相談窓口であるマザーズハロ

質問 望み、4人が希望どおりに転園することができた。調るなど、取得状況は増加傾向である。引き続き育児休業取得しやすしい職場環境の整備に努めていく。②相談窓口であるマザーズハロ

一般質問 (要旨)



おさんぽ中には、はいち〜ず!
(多摩川の土手)

質問 子どもの安全が望み、4人が希望どおりに転園することができた。調るなど、取得状況は増加傾向である。引き続き育児休業取得しやすしい職場環境の整備に努めていく。②相談窓口であるマザーズハロ

答弁 ①令和6年度の入所も教室との一体的な運営を申請において、20人が兄弟姉妹と同一園への転園を希望は。

質問 間学童クラブや放課後子ども教室との一体的な運営を求め、検討していきたい。

質問 誰かが働きやすい昭島市に向け、①市が率先して男性の育児休業取得を推進すべきだが、市職員における取得率と取り組み状況は。②就職氷河期の女性に対する支援の状況は。

答弁 財を育成するための今後の取り組みは。

質問 AIなどの最新テクノロジーによる研修の実施や民間企業によるBPR研修に参画した。今後もCIO補佐官による研修など様々な資源を最大限活用し、DXの育成に努めていく。

質問 AIなどの先端技術を活用し、住民等の利便性の向上、自治体の人的・財政的負担の軽減を図るスマート自治体の実現に向け、

質問 学校教育について、従来の画一教育では同調圧力・正解主義につながる課題がある。また、激変する社会を生きる必要を身に付けるためにも、個別最適な学び・協働的な学びの充実を図るべき。考えは。

答弁 各学校とも個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、学びに向かう力などを育成するための授業改善に取り組んでいる。

質問 孤立化が進む社会状況の中で、顔が見え助け合える関係性の構築は防災対策に限らず喫緊の課題である。公園等のかまどベンチ・マンホールトイレについて、①設置場所を市民へ公開すべき。②被災

質問 子どもの安全が望み、4人が希望どおりに転園することができた。調るなど、取得状況は増加傾向である。引き続き育児休業取得しやすしい職場環境の整備に努めていく。②相談窓口であるマザーズハロ

質問 望み、4人が希望どおりに転園することができた。調るなど、取得状況は増加傾向である。引き続き育児休業取得しやすしい職場環境の整備に努めていく。②相談窓口であるマザーズハロ

個別最適な協働的な学びの充実
GLP昭島プロジェクト
みらいネットワーク 林 まい子 議員

昭島市の人材マネジメントの取り組みについて
自由民主党昭島市議員 安保 満 議員

質問 子どもの安全が望み、4人が希望どおりに転園することができた。調るなど、取得状況は増加傾向である。引き続き育児休業取得しやすしい職場環境の整備に努めていく。②相談窓口であるマザーズハロ

答弁 ①令和6年度の入所も教室との一体的な運営を申請において、20人が兄弟姉妹と同一園への転園を希望は。

質問 間学童クラブや放課後子ども教室との一体的な運営を求め、検討していきたい。

質問 誰かが働きやすい昭島市に向け、①市が率先して男性の育児休業取得を推進すべきだが、市職員における取得率と取り組み状況は。②就職氷河期の女性に対する支援の状況は。

答弁 財を育成するための今後の取り組みは。

質問 AIなどの最新テクノロジーによる研修の実施や民間企業によるBPR研修に参画した。今後もCIO補佐官による研修など様々な資源を最大限活用し、DXの育成に努めていく。

質問 AIなどの先端技術を活用し、住民等の利便性の向上、自治体の人的・財政的負担の軽減を図るスマート自治体の実現に向け、

令和5年度予算の補正状況

一般会計補正予算(第7・8号)	
当初予算	491億 円
前回までの補正額	57億5519万4千円
今回補正額(第7号)	20億1880万 円
今回補正額(第8号)	2億3540万 円
予算総額	571億 939万4千円
後期高齢者医療特別会計(第2号)	
当初予算	29億3027万6千円
前回補正額	8928万1千円
今回補正額	4104万 円
予算総額	30億6059万7千円
中神駅北側地域整備事業特別会計(第1号)	
当初予算	9億4200万2千円
今回補正額(減額)	9300万 円
予算総額	8億4900万2千円

討論

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

**令和6年度当初予算を可決とする
委員長報告について**

一般会計

賛成

計年度任用職員の待遇改善、PFASの調査方法の拡充、オスプレイの即時配備撤回などを求める。

反対

日本共産党昭島市議員 佐藤 文字 議員

GLP昭島プロジェクトについて、交通量の抜本的な抑制など、計画の規模縮小・撤退を強く求める。

また、民設民営の学童クラブ設置は認められず、会本予算に反対する。

賛成

策を積極的に推進している。また、市制施行70周年の施策としてくじら祭等の拡充など、目指すまちづくりに向け歩みを進める、未来志向の予算と認識している。基金の確保、市債の活用をバランスよく行いつつ、6面下段へ続く

自由民主党昭島市議員

三田 俊司 議員

初めて500億円を超える予算規模の中、市民総合交流拠点施設整備事業や学校給食費の無償化、生成AIサービスの導入等、様々な施策を積極的に推進している。

自由民主党昭島市議員

安保 満 議員

昭島市の人材マネジメントの取り組みについて、専門知識を有する職員の確保、業務の円滑な遂行、業務の活用を促進していく。